

1 研究主題名

「生き生きと伝え合い、響き合おうとする子どもをめざして」
～ コミュニケーション能力の素地をはぐくむ外国語活動の指導と評価の工夫 ～

2 主題設定の理由

社会や経済のグローバル化に伴い、急速に変化する今日の社会では、異なる文化の共存や持続可能な発展に向けて国際協力が求められるようになった。学校教育においても、外国語教育を充実することが重要な課題の1つとなっている。小学校外国語の取り扱いに関して議論を進めてきた中央教育審議会外国語専門部会は、教科としての外国語は中学校から学習するが、初歩的な外国語に体験的に触れる活動は、むしろ小学校段階での活動になじむと提言した。文部科学省では、平成20年3月28日に小学校学習指導要領の改訂を告示し、新学習指導要領では、小学校5、6年生で「外国語活動」を実施することとした。外国語活動においては、基本的な単語や表現を用い、音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養うことを目標とする活動の推進が求められている。

本校では、知育と徳育と体育の調和を目指し、全教育活動を通して「わかる喜び・できる楽しさ」を味わいながら主体的に学ぶ力をはぐくんできている。校内研究においては、平成18年度から、言語についての感覚と能力を高めていくことを重要な課題に挙げ、研究主題を「実生活に生きてはたらく言語活用に培う国語科学習の創造～伝え合いを生かした『読むこと』の指導～」として研究を積みかさねてきた。その結果、授業の中で児童が自分の考えをもち、お互いに意見を出し合う中で、自分の考えを深めたり、広げたりする姿が見られるようになってきた。しかし、日常生活において、児童が自分の思いや感情を言葉にして豊かに表現したり、相手の話を柔軟に受け止めて理解し合ったりするまでには至っていない。

また、平成21年度は、文部科学省の小学校活動等国際理解活動推進事業並びに佐賀県小学校英語活動拠点事業の研究指定を受け、模範授業の参観及び5、6年の年間指導計画の作成及び研究授業の実施を通して外国語活動についての理解を深め、研鑽を積み重ねてきた。しかし、初年度の取り組みでもあり、体験的な言語の使用場面の設定や指導方法、環境整備などは十分とは言えず、コミュニケーションを積極的に図ろうとする態度を十分に育成するまでには至っていない。

そこで、本年度は、全学年を対象に、外国語を用いたコミュニケーションを体験させることを通して、言葉や文化に違いがあっても互いの考えを理解し、響き合おうとする児童をはぐくむことを目指す。児童が進んでコミュニケーションを図りたいと思うような興味・関心のある題材を扱い、言葉や文化について体験的に理解を深めさせる。全学年を通じて外国語に段階的かつ自然に慣れ親しみ、楽しみながらコミュニケーションできる体験的な活動を取り入れる。外国語に親しみ、分かる言葉や非言語メッセージを手掛かりに相手の思いや考えを理解し、違いがあっても受け止めたり、分かる言葉や非言語を駆使しながら何とか伝え合ったりする体験を実際に重ねることを重視する。そのために、年間指導計画や指導体制を整えるとともに、担任が中心となって指導できるよう、クラスルームイングリッシュや指導法についての校内研修を充実させる。また、中学校との円滑な接続を視野に入れ、小中連携や小小連携の充実を図る。

これらのことに取り組むことによって、お互いを認め尊重しながら、思いや考えを積極的に伝え合おうとするコミュニケーション能力の素地をはぐくみ、豊かな人間関係を築かせていきたいと考え、本主題を設定した。

3 研究の目標

生き生きと伝え合い、響き合おうとする児童をはぐくむために、外国語活動において、積極的にコミュニケーションを図り、言葉や文化についての理解を深めさせる指導方法及び評価の在り方を探る。

4 研究の仮説

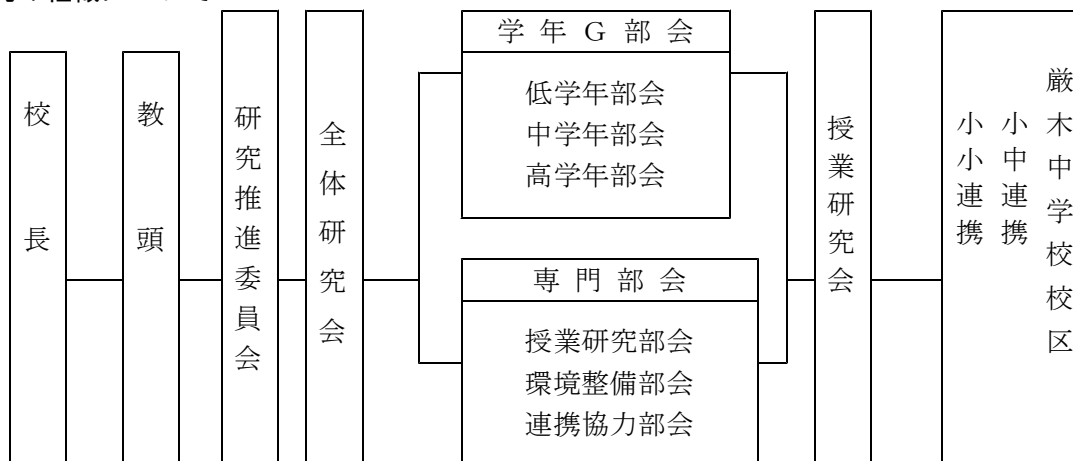
外国語を用いて言葉や文化、考え方の違いやコミュニケーションの楽しさを感じ得る体験的な活動

を工夫し、発達段階に応じた指導方法及び評価を充実させれば、互いを認め尊重しながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が育つであろう。

5 研究の内容

- (1) 外国語活動によるコミュニケーション能力の育成についての理論研究及び授業実践
- (2) 学習環境の整備及び指導力向上のための研修会の充実
- (3) 小中連携・小小連携による児童の実態に応じた系統的な学習の充実

6 研究の組織について



7 研究の計画

- (1) 研究期間と研究教科・・・2年計画（2年次）、外国語活動
- (2) 仮説検証の方法をとり、授業研究会を検証の場とする。
- (3) 年間計画

4月	本年度の研究主題・研究内容と方法・研究計画・研究組織についての協議 指導力向上のための研修会 学年経営案の作成
5月	各部会の仮説・目標・活動計画立案 資料収集・整理 外国語活動年間指導計画の作成及び見直し 実態把握(アンケート他) 第1回校内授業研究会 授業:本校第5学年 英語タイム:本校第3・4学年(講師招聘)
6月	第2回校内授業研究会 授業:本校第6学年 英語タイム:本校第1・2学年(講師招聘) 第3回校内授業研究会 授業:分校第6学年 英語タイム:分校第2・3・4学年(講師招聘) 指導力向上のための研修会
7月	1学期の実践の評価及び指導計画の見直し 実態把握(アンケートの分析) クラスルームイングリッシュなどの研修
8月	指導力向上のための研修会(講師招聘) 教材開発 ワークショップ 小中連携の充実 2学期に向けての指導案及び資料等作成 研究冊子原稿作成
9月	各学年グループでの授業研究会 指導力向上のための研修会 研究冊子原稿修正
10月	各学年グループでの実践・授業研究会 指導力向上のための研修会 研究冊子完成
11月	外国語活動公開授業研究会
12月	2学期の実践評価及び年間計画の見直し
1月	実態把握及び分析(意識の変容) 各学年グループ・専門部会のまとめ 原稿作成
2月	研究のまとめ(今年度の成果と今後の課題) 研究のまとめ冊子作成 次年度の研究の方向性